

■ 全学農畜産実習



学部新生は、必修科目である「全学農畜産実習」を4月中旬から7月にかけて行います。この科目は農畜産への幅広い興味や問題意識を育てることを目的としており、学生たちは、栽培実習、豚飼育実習を軸として「農業・畜産の基本は、生き物を大切に育て、それが犠牲になり、私たち人間の食料となっていること」を学びます。

■ 課外活動

課外活動は、ラグビー部、馬術部などの体育会系のサークルや、「うしぶ。」、「ゼニガタアザラシ研究グループ」などのユニークな文化系サークルがあり、活躍しています。「うしぶ。」では、日々の活動として、毎日朝・夕5時から、畜産フィールド科学センターにおいて、乳牛約60頭の搾乳作業を行っています。



■ 講義棟

平成19年12月に講義棟の全面改修が完了しました。全教室にプロジェクターを配備し、より分かりやすい講義ができるようになりました。また、大講義室を始め、収容人数の多い教室には空調設備が備えられました。

■ 総合研究棟 I 号館



新たな機能や要素の創出をコンセプトに、多様なコミュニケーションによる相互作用をよりいっそう重視し、新しい教育研究へ対応してゆく活気ある雰囲気環境と空間を提供することを目標とし、平成19年12月に改修が完了しました。教員と学生がよりコミュニケーションをとれようとしてコモンオフィス、コミュニケーションラウンジなどがあります。

新たな機能や要素の創出をコンセプトに、多様なコミュニケーションによる相互作用をよりいっそう重視し、新しい教育研究へ対応してゆく活気ある雰囲気環境と空間を提供することを目標とし、平成19年12月に改修が完了しました。教員と学生がよりコミュニケーションをとれようとしてコモンオフィス、コミュニケーションラウンジなどがあります。

キャンパス散策 (帯広畜産大学)



帯広畜産大学は、昭和24年5月に我が国唯一の国立の畜産大学（前身は、昭和16年4月開校の帯広高等獣医学校）として設置されました。現在は、畜産学部と大学院畜産学研究科（修士課程）3専攻、博士課程（前期・後期）1専攻、岐阜大学大学院連合獣医学研究科（博士課程）、岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）、別科（草地畜産専修）、全国共同利用施設の原虫病研究センターなどが設置されており、約1,430人の学生が勉学と課外活動に励んでいます。

十勝平野のほぼ中心に位置する本学は、東京ドーム40個分に相当する広い大学キャンパスがあります。そこには、乳牛150頭を始め、ウマ、ヒツジなどが数多く飼育され、野生動物のアカゲラやモモンガが生息し、講義棟の前の芝生をエゾリスが走り回る光景も珍しくありません。

本学は、平成20年4月から、従来の学科制を、獣医学課程・畜産科学課程の2つの課程制にしました。また全ての教員は7部門の研究域に所属し、そこから学生の所属する学部や研究科に出向いて教育をすることになりました。学科の枠を取り払い、学科を超えて各課程、各専攻の教育に全教員が関わることができるようにして、学部・大学院教育における獣医・農畜産融合を可能にする仕組みがつけられました。

本学の基本方針は、「食の安全確保に関わる人材育成を通じて、地域および国際社会に貢献すること」です。獣医・農畜産学に関連する先端基礎研究および開発研究の成果を実践する場として、学内および周辺のフィールドを活用できることは本学の最大の強みであり、この教育研究環境を十分に活かして、世界に通用する環境にやさしい持続可能な農業の確立に貢献することが、日本で唯一、「食の安全確保」を大学の理念・目標としている本学の使命です。



世界に通用する環境にやさしい持続可能な農業の確立に貢献することが、日本で唯一、「食の安全確保」を大学の理念・目標としている本学の使命です。

本学は、平成20年度グローバルCOEプログラムに、「『アニマル・グローバル・ヘルス』開拓拠点—地球規模の畜産衛生管理に向けた高度専門家育成—」が採択されました。

■ 原虫病研究センター



原虫病研究センターは、「動物の原虫病に関する監視と制圧」に関する国際獣疫事務局（OIE）コラボレーティングセンターに認定されました。これは、アジアで最初であり、原虫病専門のセンターとしては世界初となるため、今後世界の畜産振興と畜産物の安全性確保を目指した家畜原虫病対策に関して専門的見地から主導的役割を果たしていくことになります。

■ 大動物特殊疾病研究センター

大動物特殊疾病研究センターは、動物特殊疾病の診断・治療・予防法の開発に関する基礎研究と応用研究を行い、家畜衛生の向上と食の安全性の確保に貢献することを目的としています。



■ 畜産フィールド科学センター

東京ドーム30個分の面積を持つ畜産フィールド科学センターは、この広大な農地を活用して粗飼料の自家生産や放牧酪農を行い、おいしい「畜大牛乳」を作っています。この「畜大牛乳」は、大学生協などで販売され、教職員・学生のみならず、市民にも評判です。

